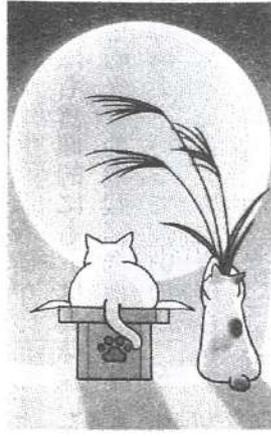


# 会報

第 154 号  
房総石造文化財  
研究会

十月に入り、ようやく夏が終わったような今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。長かった猛暑が去って、疲れが出る時期です。くれぐれもご自愛くださいませ。  
九月からは毎月、会の行事が予定されており、秋から冬は石仏を見るのに良い季節です。奮ってのご参加を心よりお待ちしております。



## 会報一五五号 目次

- ✳ 九月 石仏勉強会の報告 〈一頁〉
- ✳ 十月 バス研修旅行の実施 〈二頁〉
- ✳ 十一月石仏見学会のご案内 〈三頁〉
- ✳ 十二月石仏ゼミナールのご案内 〈三頁〉
- ✳ 一月新年懇談会のご案内 〈四頁〉
- ✳ ご投稿のお願い 〈四頁〉

## 九月十五日(月・祝) 石仏勉強会を開催しました

前号でもお知らせしましたように、今年度のバス研修旅行は十月四日(土)に、「上総東部から下総東南部地域の石造物をめぐる」というテーマで実施する計画を立てました。

この地域の見学会は、平成二六年(二〇一四)のバス研修旅行以来となります。

つきましては九月の石仏勉強会で、この地域の石仏・石造物や独特な石材、歴史的背景についての「事前学習会」を行い、実際のバス研修では回りきれない石仏たちも紹介したいと思い、企画しました。

勉強会当日は、十四名の会員がご参加！



成東・柴原岩塊 今回は見学しませんが、写真は下見時。すっかり木に覆われていました。市原方面から延びる金剛地層の露頭と言われます。

石仏の見どころや板碑について、画像や資料を見ながら和気藹々のうちに会が進みました。石材についての資料は会員の高橋直樹氏が用意してくださいました。

### 願成就寺五輪塔と西光寺「地藏圖像板碑」

今回のバス研修で最初に訪ねる願成就寺には特殊な形態の五輪塔があることが知られております。二〇一〇年代には当会の早川正司氏をはじめ、中世石造物研究者の間でさまざまな議論が交わされました。

銘文は見られませんので(製作当初から無かったのか、剥落した部分にあったのか、不明)年代や造立者、造立目的など推定の域を出ない点が歯がゆいのですが、その分、研究が広がる可能性を秘めている...という見方もできます。写真で見てもなかなかの迫力がありますが、実際に現地で拝見すると、大きさ、重量感、石材の色など、その独特な様子にしばし時を忘れて見入ってしまいます。(次ページに、五輪塔と並べた写真を載せましたので、比較してみてください。)現在までのところ、これと同型式の「五輪塔」は他には発見されていませんので、全国的にも唯一のもの、ということができます。機会があったらぜひ、実物を見ていただきたい石造物です。

◆◆◆◆◆  
八日市場の西光寺、「地藏圖像板碑」も、前回のバス研修に引き続きの訪問です。

「会報」第155号  
発行：2025年10月1日

房総石造文化財研究会 事務局

会のホームページURL：  
<https://sites.google.com/view/bosekiken/>

### 原稿募集のお願い

会誌『房総の石仏』三十号へのご投稿をお願いいたします。論考、石仏随想、事例報告など多様なジャンル歓迎です。千葉県内だけでなく、他県他地域の石仏・石造物でもかまいません。原稿枚数だけは規定がありますので、事務局までお問い合わせください。

この第三十号は、本会の創立四十周年記念誌として位置づけておりましたが、今年には創立四十五周年になります。なるべく早い刊行を（できれば今年度中を目標に）考えておりますので、皆さまどうぞご協力をよろしくお願いいたします。